

## 横浜の英字新聞は「台湾出兵」をどのように報道したか —“Japan Punch”と“Japan Weekly Mail”を中心として—

聶友軍

(浙江工商大学日本文化研究所)



1874年、日本は宮古島島民遭難事件を口実に台湾への出兵を強硬に進め、国際世論を騒がせた。なかでも当時、横浜で発行されていた英字雑誌“Japan Punch”（ジャパン・パンチ）と英字新聞“Japan Weekly Mail”（ジャパン・ウィークリー・メール）の二つは、このいわゆる「台湾出兵」（The Formosa Expedition）に対して関心を持ち続け、追跡取材を続けた。ここで重要なのは、両者が何を（What）、どのように（How）述べ、そして何故（Why）そのように述べたのかということである。

“Japan Punch”は、「実に新しく馬鹿げた喜劇が台湾で」との見出しをつけ、八幕にわたる演劇形式でこの事件を取り上げている。“Japan Punch”は事件の発生や経過、結果、影響といったものに対して、見たままを表現するという態度を取り、関連する写真や図を何枚か載せている。一方の“Japan Weekly Mail”は、この事件に関して二十余にも上る文章を掲載している。

“Japan Punch”と“Japan Weekly Mail”はどちらも初期において、揃いも揃って中国を支持し、日本に反対する見解を示している。しかし、その報道の仕方には若干の差があった。“Japan Punch”には、日本の行動を諷刺する漫画が多く描かれており、中国で出兵の準備を整えた日本が相手の勢いを察して逃げ出したのだという見解を示している。しかし、事件が解決に向かう頃には、中国を非難するようになっていった。当時の情勢をかなり正確に把握し、判断を下していたといえよう。

かたや、“Japan Weekly Mail”は、世界の情勢を伝えることから着手し、日本の行動は世界中で非難されるに違いないと述べている。また、西洋の仲裁がもたらした効果を強調するあまり、相対的には中国・日本両国の応酬や両国国内の情勢がこの事件に与えた影響、そしてこれらが争いを最終的に解決していく過程において決定的かつ主導的な役割を果たした事実については、軽視している。

このように、“Japan Punch”と“Japan Weekly Mail”はどちらも、終始一貫して外からの客観的な「中立」の立場を保ち続けたわけではなかった。つまり、中国を支持し、厳しく非難する前半の報道から一変し、日本の出

兵に合理性を見出して日本を弁護し、中国による事件の処理の方法とそれがもたらすことになった影響とにきわめて低い評価を与える立場へと回っているのである。また、両者ともに「台湾出兵」が中国・日本両国の間に深い影響を及ぼすだろうことは予想していたものの、この事件が両国、とりわけ日本の外交政策にもたらす影響については見通すことができなかった。実際には、事件の翌年から日本・ロシア、日本・朝鮮、日本・沖縄、そして日本・中国の関係には、大きな変化が生じることになったが、こうした変化は多かれ少なかれ「台湾出兵」に起因すると考えられるのである。

“Japan Punch”と“Japan Weekly Mail”がこのような報道を続けた理由として、次の何点かを挙げることができよう。すなわち、①外部に身を置き、客観的かつ「中立」な立場を取るものという報道メディアの理想を守ろうとする姿勢があった。つまり、中国と日本どちらにも不適切な部分があったと指摘するが、だからといって日本が台湾へ出兵したことに正統性を認めるわけではないという姿勢をどちらも貫いている。②編集者の母国であるイギリスの利益に対する考慮があった。特に“Japan Weekly Mail”は、事態がどう進展するにせよ、日本が台湾に滞留し、占領することなど断じて望まないという態度を見せている。③世界的な情勢による影響を受けていた。“Japan Punch”には、二枚の図が掲載されている。それらは、西洋の外交官たちがこの事件に対して持つ普遍的な見方と、横浜にあった英字新聞社の編集長たちがこの事件をどのように報道したのかを示している。④“Japan Weekly Mail”と日本政府がこの事件発生以前から維持してきた友好的な「蜜月」の関係が破綻したばかりで、“Japan Weekly Mail”は日本の政府当局に「打撃」を与えることを望んでいた。⑤事態の進展にともない、情勢が日本に有利に動き始めると、メディアは学者たちによる研究のように慎重かつ明確な見方を表せばよいというわけにはいかなかった。そのために、“Japan Punch”と“Japan Weekly Mail”は両者ともに少しずつ見方を変化させていったのである。